

豊平峡・定山溪ダムの防災操作と効果 (平成25年5月27日～6月1日) ～豊平川の水位を約0.5m低下～

ほうへいきょう

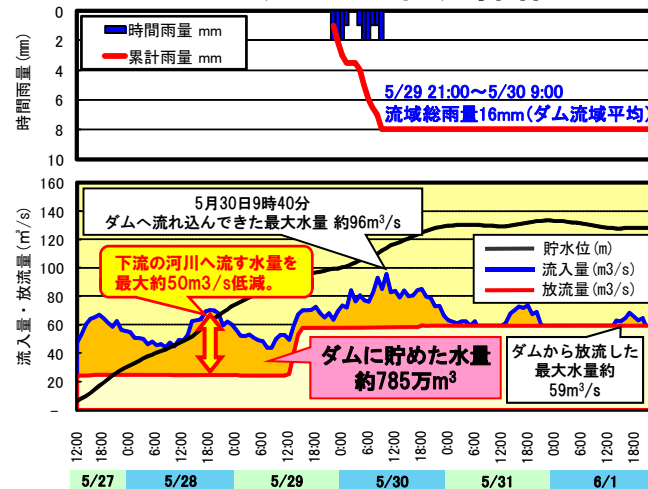
じょうざんけい

- 平成25年5月27日からの融雪及び5月29日からの降雨により、豊平峡ダムへの最大流入量は約96m³/s、定山溪ダムへは約71m³/sの流入量を記録しました。
- 今回の防災操作において、豊平峡・定山溪両ダムでは合せて約1140万m³(札幌ドーム約7個分)の水を貯留し、下流の河川へ流す水量を最大で約50～54m³/s(約8割)低減させました。
- この結果、ダム下流の雁来水位観測所地点(北13条大橋付近)では、水位を約0.5m低下させることが出来たと推測されます。

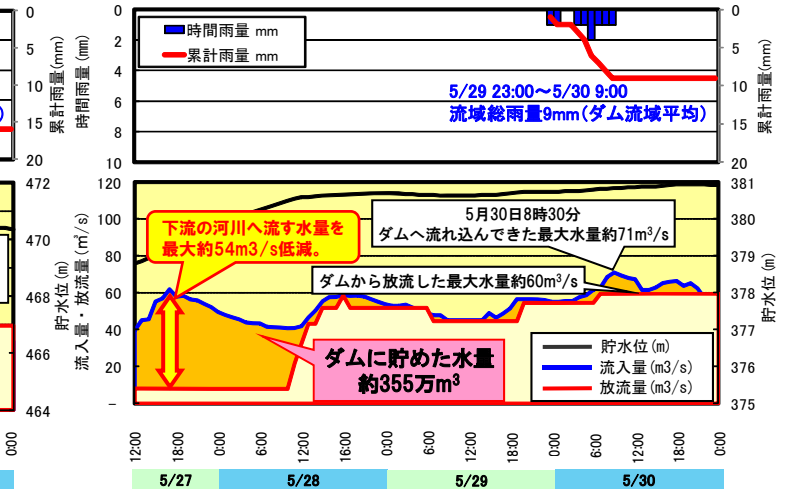
豊平峡ダム・定山溪ダム位置図



豊平峡ダムの防災操作



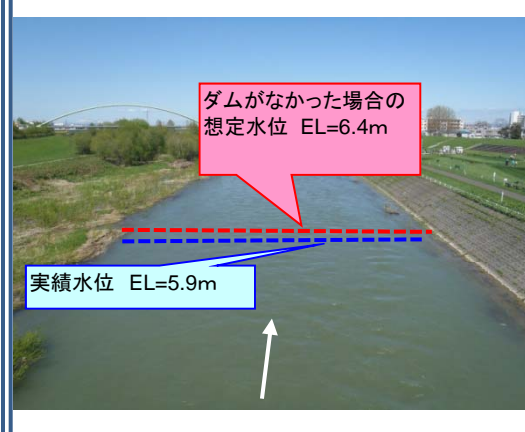
定山溪ダムの防災操作



豊平峡ダム貯水状況



雁来水位観測所付近



雁来水位観測所地点における水位低減効果

